



先日13日(金)に合唱発表会が開かれました。合唱曲が7月に決まってから、長い期間をかけて、学級・学年・全校合唱曲を創り上げてきました。

3年生の部のトップを飾った、学年合唱「春に」。歩学年の持ち味である素直でまっすぐな思いに、女子の落ち着いた美しい響きと男子の迫力がある声が重なった美しいハーモニーや曲の雰囲気を感じ取って表情や歌声に乗せる確かな表現力も加わり、素晴らしい歌声を体育館中に響かせ、歌い切ることができました。

また、学級合唱では、最大限の思いのこもった「最幸」の合唱を、学年の仲間や保護者の方、そして後輩たちに披露することができました。学年合唱や全ての学級の合唱を聴いて、言葉にならない感動でいっぱいになり、自然と涙があふれてきました。歩学年の皆さんと一緒に過ごすことができる幸せを改めて感じた時間でした。

夏休み前から続いた長い取組が一区切りとなります。当日までの取組や本番の合唱を通して、皆さんは何を感じ取ったでしょうか。また、合唱曲を創り上げる経験を通して、心を育てることができたでしょうか。周りの仲間と繋がり、信じることができ、本気で表現し、感動することはできたでしょうか。

「結果」という言葉について、昨年の合唱発表会を終えた時にも掲載した次の文章を紹介します。

我々は「結果」とどう向き合えばいいのか。(中略)「結果は自信をつけるもの」とだけとらえればいいのだ。これこそ真理だ。結果の積み重ねによって、人は自信をもつ。その自信を過信せずに重ねていけば間違いなく成長できる。

要は「結果」は自分がコントロールすることができない、後からついてくるもの、と割り切る覚悟が必要なのだ。「未来」の事象だから、それについてあれこれ考えてもしょうがない。

そこでおのずと大事になってくるのは、その結果に至るまでの「プロセス」ということになる。簡単に言うと「今できることを正しくやる」ということだ。「結果だけを追い求める」と「努力の先に相応の結果がついてくる」と意識をもつのでは、その「結果」(たとえどういう結果になろうと)の後に自分の中に残るものが違ってくる。 「弱者の流儀 野村克也31の教え」野村克也 ポプラ社より参照

各クラス、当日までの「プロセス」を大事にしてきました。途中立ち止まったり、歩みがゆっくりだったりしたときがあったとしても、最終的に「今できることを正しくやる」ことができたならば、それはとても素晴らしいことで、今後につながります。

合唱発表会是一个区切りではありますが、ゴールではありません。これから「卒業」という舞台に向かうこの数か月で、さらに成長する可能性を十分に秘めています。皆さんが卒業するときに、周りで聞いている人、歌手自身も含めて会場中が感動に包まれる合唱を歌える、心豊かな学年になることがゴールだと考えています。今回の経験は、皆さんがそのゴールに近づく確かな一歩になったと思います。卒業に向けての曲創りを通して、歩学年の集大成の形をつくっていきます。

卒業まであと40日ほどです。一步一步を確かな足取りで歩いていき、自分と周りにいる人を大切にできるさらに心豊かな学年に成長させていきましょう！

★各クラスの合唱の様子



今後の予定

- 12月17日(火) 特別支援学級校外学習
- 19日(木) 5短 委員会
- 23日(月) 4時間授業 ①月3②月4③総合④学活
- 24日(火) 冬季休業(～1月6日(月))
- 1月7日(火) 4時間授業 5短 朝: 全校集会、表彰伝達  
①②学活(ふれあいタイム)、相談アンケート ③火3の授業 ④競書会  
下校完了14:05
- 8日(水) 5短 公立三者懇談 私立推薦・特色出願(～10日(金))
- 9日(木) 5短 公立三者懇談
- 10日(金) 5短 公立三者懇談 私立一般出願(～17日(金))

**保護者の皆様へ** 日頃は学校・学年の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

お忙しい中、合唱発表会を鑑賞いただきありがとうございました。お子様たちは、心を込めて全力で歌い切りました。これまで時間をかけて取り組んできた成果を感じ取っていただけたら幸いです。ここからは、入試や卒業に向けて動いていきます。今後、ますます保護者の皆様のご協力が必要となります。お子様を励ましたり、一緒に手続きを進めたりするなどのサポートをお願いいたします。